

教養学部 学際科学科 地理・空間コース ガイダンス資料



卒論の題目等の詳細な情報は以下のHPをご参照ください。
<http://www.humgeo.c.u-tokyo.ac.jp/>



ガイダンスの内容

- 地理・空間コースのスタッフ
- 地理・空間コースの特徴
- カリキュラム（授業・実習）の特徴
 - ・野外実習
 - ・空間分析と可視化（地図化）
- 卒業論文
- その他



地理・空間コースのスタッフ (2025年度)

- 永田淳嗣教授(社会経済地理学, 農業・農村地理学, 東南アジア地域研究)
- 横山ゆりか教授(建築計画学, 環境心理学)
- 梶田 真教授(農村地理学, 公共政策の地理学, 地域統計論)

- 
- **小田隆史**准教授(都市社会地理学,防災・災害論,北米地域研究)
 - **鎌倉夏来**准教授(経済地理学,工業地理学) ※鎌倉先生の本属は地域未来社会連携研究機構のため,機構のプログラムでも授業が開講されています
 - **住吉康大**助教(移動の地理学,文化地理学)



地理・空間コースの 定員と在籍者

- 学年の定員は同学科・科学技術論コースと合計で14名です
- 地理・空間コース所属の学生は、4年生8名・3年生8名の計16名です。
- 毎年,文系・理系の双方から進学者がおり,学部学生・大学院生・スタッフの出身科類・学部も多様です。



地理・空間コースの教育目標

- 都市・農村問題，開発と環境，国土政策，地域経済，高齢化社会など，現代社会のさまざまな問題を空間的視点から考えていきます
- 問題の本質を，地域のコンテクストに即した形で理解し，効果的な政策の策定や地域・建造環境のデザインに応用することのできる人材を育成します



地理・空間コースの特徴(1)

- フィールドワークや一次データの分析を中心とした実証的な研究を重視しています。実際に現地に出向き、現場を観察し、関係者に直接話を聞くことで、リアリティを持った地域の記述・説得的な現象の説明を行うことを目指しています



地理・空間コースの特徴(2)

- ①野外実習(フィールドワーク), ②空間分析と可視化(地図化)の2つの実習に多くの時間を割いています
- これらの実習には大学院生のTAがつき、丁寧な指導を受けることができます(数理的な素養がなくても大丈夫です)



地理・空間コースの特徴(3)

- 自由度の高い授業選択や卒論テーマ選択(卒業単位として,他学部・他学科の単位を数多く認めています)



地理・空間コースの特徴(4)

- 地域を扱っている学問分野は他にもありますが、地域・テーマ横断的に研究者・大学院生が集っている場は他にはないと思います
- 多様な視点から議論が展開され、広い視野とバランスのとれた現象理解を図ることができます



地理・空間コースの必修科目 について(講義)

- 地理・空間基礎論Ⅰ(2年Aセメ)
永田・梶田・小田による概論
- 地理・空間基礎論Ⅱ(3年Sセメ)
横山による概論
- 自然環境論(2年Aセメスター)
非常勤講師による自然地理学の概論



地理・空間コースの選択科目

- 人口論
- 国土デザイン(鎌倉)
- 都市地域デザイン
- 農村地域デザイン(永田)



地理・空間コースの選択科目

- 社会経済地理学 I・II
(鎌倉(I), 梶田(II)が交互に開講)
- 空間行動論
- 文化空間論
- 都市地理学(小田)
- 歴史地理学



地理・空間コースの選択科目

- アメリカの自然と社会(小田)
- ヨーロッパの自然と社会
- ロシア・東欧の自然と社会
- ラテンアメリカの自然と社会
- アジアの自然と社会(永田)

地理・空間コースの必修科目 について(実習)

2年Aセメ
スター

3年Sセメ
スター

野外実習

地理空間調査
設計Ⅰ／地理空間
フィールドワークⅠ

地理空間調査
設計Ⅱ／地理空間
フィールドワークⅡ

空間分析と可視化
(地図化)の実習

地理情報
分析基礎Ⅰ

地理情報
分析基礎Ⅱ

※空間分析と可視化(地理情報システム(GIS))についてはより
高度な内容に関する選択科目として3年Aセメスターに「応用地
理情報分析」が用意されています



野外実習(1)

- 2年Aセメと3年Sセメで実施
- 毎週の授業(地理・空間調査設計)と長期休暇期間中の3泊4日程度の実習(地理・空間フィールドワークⅠ・Ⅱ)をセットで行います
- フィールドワークⅠは永田先生と鎌倉先生, Ⅱは梶田先生と小田で交互に担当します



野外実習(2)

- 地理・空間調査設計では(1)調査地域・テーマに関する文献・統計・その他資料の検討,(2)現地での調査計画の策定,(3)現地調査の事前準備(アポイント取りなど)などを行います



野外実習(3)

- 野外実習では、実際に調査地に出かけ、各自で現地観察、聞き取り調査、現地資料の収集を行います
- 聞き取り調査などについては適宜、教員もしくはティーチング・アシスタントが同行し、アドバイスをを行います
- 毎晩、ミーティングを行い、その日得た知見について報告・議論を行います

地域の有力者の方へのインタビュー





野外実習(4)

- 帰京後，調査結果をレポートにまとめて提出します．レポートは添削し，教員・TAがOKを出すまで加筆・修正を繰り返します
- 最終的にレポートを集めて報告書を刊行し，調査でお世話になった方々などに配布しています



野外実習の報告書

人文地理学野外実習報告シリーズ No.17

北海道十勝地方の農業・農村

目 次

はじめに.....	永田 淳嗣	1
「新農政」以降の国家政策と十勝地方の農家の動向.....	森嶋 俊行.....	3
畑作農家の営農における経営判断 —北海道十勝地方の事例—.....	船倉 翔一朗	13
十勝畑作営農の体質に対する考察 —更別村及び士幌町での野外実習に基づいた分析—.....	王 暹	23
北海道における農業流通の展開.....	平田 直大	35
北海道における肉用牛肥育経営の展開.....	佐藤 康人	45
北海道畜産業における個別経営の変遷と それぞれの取り組み.....	大石 篤志	57
地域における乳用牛頭数の限界と 酪農経営の大規模化の可能性.....	鈴木 兼人	63

東京大学 教養学部 人文地理学教室

2006



近年の実習地

- 愛媛県八幡浜市(2024年年度Aセメ)
- 青森県大間町(2024年度Sセメ)
- 東京都青梅市(2023年度Aセメ)
- 宮城県仙台市周辺(2023年度Sセメ)
- 岐阜県高山市(2022年度Aセメ)
- 高知県高知市周辺(2022年度Sセメ)



空間分析と可視化(地図化) の実習について

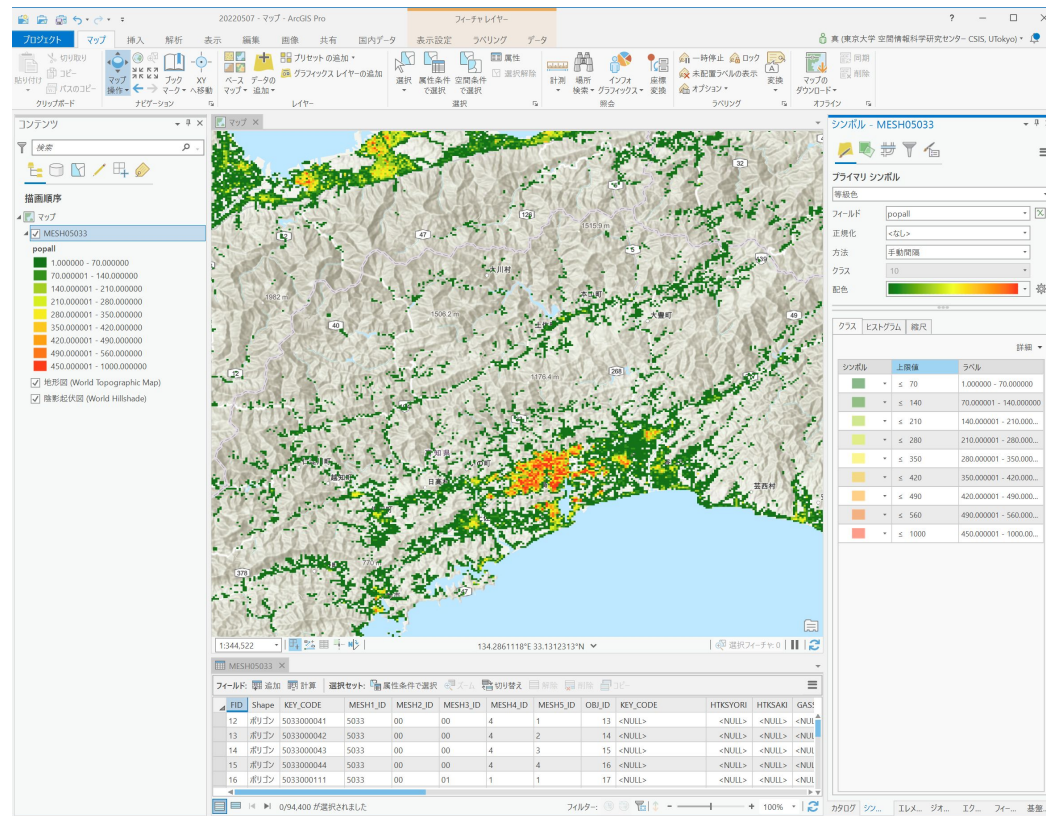
- 地域に関する様々な資料(地形図, 地域統計など)の使い方と計測・分析法, そして, 分析の結果を可視化(地図化)に関する実習を行います
- 地理情報分析基礎 I・II は野外実習の授業と連動して行われます(調査地の地形図や地域統計等を用いて実習を行います)

- 
- I は小田, II は横山と梶田が担当します

地理情報分析基礎Ⅱの授業風景



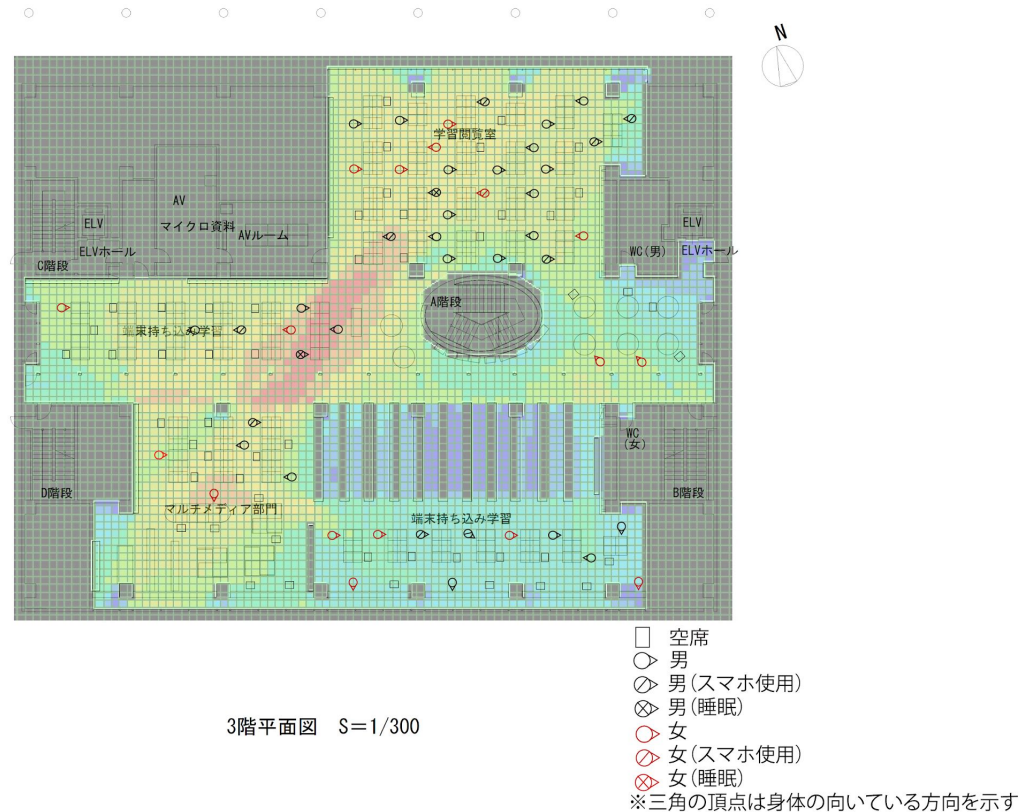
メッシュ統計を用いた人口密度の可視化(地理情報分析基礎II・梶田先生の担当回)



駒場図書館の行動マッピング

(地理情報分析基礎II・横山先生担当回)

2021年6月28日
開始時刻:16時00分
終了時刻:16時16分





卒業論文

- テーマは学生の希望を基に指導教員との話し合いの上で決められます
- フィールドワークを中心とした研究の場合には、Sセメスターを通じて調査計画をまとめ、夏休みに本格的な調査を行い、Aセメスターに補足調査などを交えながら論文をまとめていきます



近年の卒業論文のテーマより

- 温泉地の観光振興活動における組織的課題—山形県あつみ温泉を事例に—
- 農山村地域における地域集会施設の維持管理をめぐる行政および地縁団体の動向：秋田県湯沢市稲川・雄勝地域を事例に
- 東京大学関連ベンチャーの事業所の立地選択
- 大都市郊外における地域資源を活用したまちづくり—東京都調布市の事例—
- 過疎地域における若年層の活動展開と地域の持続性—千葉県市原市南部の里山地域を事例に—



近年の卒業論文のテーマより

- 「海業」の実態と可能性—神奈川県三浦市を事例として—
- 貨物自動車運送事業における事業所立地の空間パターン—多重下請構造に注目して—
- 災害公営住宅における居住選択機会と居住者の生活再建過程—宮城県東松島市を事例に—
- イノベーションの空間的変容と近接性に関する一考察—福井県の繊維産業を事例として—
- 地方都市における社会インフラとしてのスポーツ・文化施設の在り方—官民連携に着目して—



学部卒業生の就職・進学先

- 大学院進学者は毎年卒業生の1/2～1/3程度です.
- 主要な就職先はメーカー, マスコミ, コンサルなどの専門サービス, 情報サービス, 金融機関, 出版・印刷, 教員, 研究機関, 官公庁などです.



留学について

- 全学交換留学(USTEP)等を利用して短期交換留学を行うことができます
- 協定校で取得した単位の一部について、所定の手続きにより単位の読み替えが認定されれば、卒業単位に算入されます
- コースの野外実習等と留学日程の兼ね合いから、2年間のコース終了が難しい場合もあります



2号館2階の設備(1)

- **機器室**: PC・コピー機・裁断機等が完備されています. 地理情報システム(GIS)ソフトウェアのArcGIS (MapおよびPro)は全てのPCにインストールされています
- **地図室**: 地形図の体系的な収集を行っており, 国内外の様々な地図があります. 野外実習の準備や卒論のゼミは主として地図室で行われます



2号館2階の設備(2)

- **図書室**: 地理関係の学術雑誌・和書があります(洋書・洋雑誌バックナンバーは駒場図書館地下2階に別置)
- **統計室**: 国勢調査など主要な統計資料が配置されています。大学紀要もこの部屋に保管されています(学生室でもあります)
- **院生室**: 4室(1室6名前後)あり, 院生毎に机と本棚が配分されます